

■経営情報学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の経営情報学科の経営とシステムの専門領域に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- 生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち、主体的・持続的に学ぶことができる人
- IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与できる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人
- 多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出すことができる人
- IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

大学では高等学校での学習内容を土台として講義が展開されます。「国語」、「数学」、「英語」のような基礎科目は、大学の講義を理解する基盤となるだけでなく、物事を論理的に思考することやコミュニケーションを身に付けることに役立つ科目です。「情報」も当学科の専門教育を受ける上で土台となる科目です。加えて経営には幅広い知識が求められます。そのためにはインターネットのみならず、雑誌、書籍などを読み、世の中の動きを知ることが重要です。